

〔資料4〕「ガラスの利用」要点のまとめかた

段落の主な要点	児童	要点											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ ②段落と③段落は、大部分の児童が、まとまりととらえている。
 ○ ④⑤⑥⑦の段落は、どの段落も強化ガラスと合わせガラスが中心、⑧⑨⑩⑪の段落はガラスの糸としてまとめられ、ほぼ全員ができています。
 ○ (第二次検証授業実践の反省)
 ○ 何について述べている段落かという見方は、かなりあいまいな点もある。一段落一文構成の時など、それが強い。
 ○ 中心話題を「○○のこと」と書くことは、機械的作業のような面もあるが、次第に段落の重要語句が分かる力となっていく。したがって、段落の主題を意識させる読みの視点としては、よい方向といえる。

○ 段落の中心話題・要点・段落相互の関係という形で実践してきた結果、目あてである「段落相互の関係を把握し全体を見通す力」がつかえてきたと思われる。
 ○ 要点のまとめ方には、まだまだ問題が残る。主語欠落の文、指示語・接続語がそのままに使われている文、本文そのままの文など、問題がある。

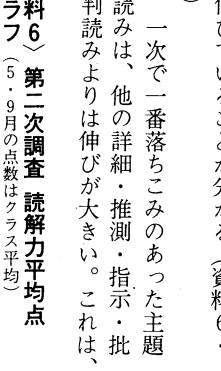
〔資料5〕「ガラスの利用」意味段落へのまとめ

意味段落形式	1 2 3 4 5												1	2	3	4	5	りまとの数							
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫													
1																									
2																						0	4つ		
3																						0	0		
4																						0	0		
5																						0	0		
6																						0	0		
7																						0	0		
8																						0	0		
9																						0	0		
10																						0	0		
11																						0	0		
12																						0	0		
13																						0	0		
14																						0	0		
15																						0	0		
16																						0	0		
17																						0	0		
18																						0	0		
19																						0	0		
20																						0	0		
21																						0	0		
22																						0	0		
23																						0	0		
24																						0	0		
25																						0	0		
26																						0	0		
正解	22人	20人	15人	17人	21人	22人	20人	15人	17人	21人	22人	20人	15人	17人	21人	22人	20人	15人	17人	21人	22人	20人	15人	17人	21人

○ 学力の低い児童にとっては、中心話題と要点を結び付けるといことには、かなり無理がある。
 ○ 児童の変容(第二次実態調査) 第一次調査と同一の検査を実施した。読解力・読書力ともに第一次調査よりは伸びていることが分かる。(資料6・7)

○ 一次で一番落ちこみのあるあつた主題「読みは、他の詳細・推測・指示・批判読みよりは伸びが大きい。これは、読解力・読書力ともに第一次調査よりは伸びていることが分かる。(資料6・7)」

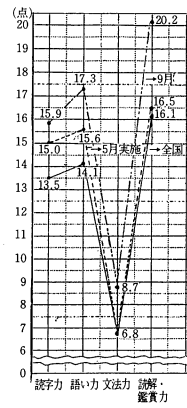
〔資料6〕第二次調査 読解力平均点



○ 読みは、他の詳細・推測・指示・批判読みよりは伸びが大きい。これは、読解力・読書力ともに第一次調査よりは伸びていることが分かる。(資料6・7)

文章を読むときの主題意識が、以前よりは増してきた結果と受け取れる。
 ○ 読書力の伸びは、読解力の伸びより大きく、読解鑑賞力は三・七の伸びであった。読書力の伸びは、読書学年の上昇を示し、学年相当以下の者は第一次調査の1/2に上っている。
 ○ 読書力が向上している児童は、文法力の向上のほかに、語力の向上もみられる。(資料略)

〔資料7〕第二次調査 読書力平均点



段落の要点をまとめたり、意味段落にまとめたりできるためには、教材を分析し、順を追った指導ができるようになる。
 五、今後の課題
 内容把握と文章構成把握は、表裏一体のものではあるが、両方を同時にねらうには無理がある。教材の特質により、重点のおき方を考える。
 読書力・語い力・文法力などは、読み深めていくうえで必要な基礎的能力である。これらの力を、読み取りの中でどう伸ばすかを今後考えたい。また、大事なことをそうでないことを選択して書ける表現力の育成も、大切である。